

**令和5年度カーボンニュートラル・海洋プラスチックゼロの実現に向けた
次世代「未来共創」プロジェクト推進業務
審査評価基準**

評価項目	仕様書 該当箇所	評価の視点	配点	係数	評価点				
					A	B	C	D	E
事業目的の理解			12						
事業目的の理解度・企画全体	3、4	趣旨や背景、事業目的を十分に理解し、仕様書の趣旨に沿った内容であるか。 (企画全体が対象者や目的を踏まえたものとなっているか。)	12	3	12	9	6	3	0
参加者の募集			28						
参加者の募集・選定	5(2)、 6(1)(3)	対象者の年代(高校生～20代)及び環境(学生、就労者など)を踏まえ、環境課題に関心を持つ人や新しいことに挑戦する意欲を持つ人を集められるための効果的な募集方法、広報計画が立案されているか。(自社保有の広報ツールのほか、ポスターやSNS活用など)	12	3	12	9	6	3	0
		県内の学校や若者にかかわる団体等との繋がりを有している・交流がある等、アプローチ先が具体的に例示され、その対象に向けて効果的な募集を行い、目標の参加人数の確保が見込めるか。	16	4	16	12	8	4	0
プログラム内容			44						
ステップ①「知る」	5(1)、 6(2)	海洋プラスチック等の環境問題に意識を向けている人だけでなく、幅広い人が参加したいと思う魅力的な内容であり、又、ステップ②「考える」に繋がっていく提案となっているか。	12	3	12	9	6	3	0
ステップ②「考える」	5(1)、 6(2)	課題の整理やアイデア出しを、参加者が自発的に考えられるプログラムとなっているか。 また、GSHIP会員企業やその他企業・団体・大学等と意見を交わす機会を設けるなど、社会の一員として、より実現可能なものを考えられるような工夫があるか。	12	3	12	9	6	3	0
		参加者が考える工程を助ける補助役としてメンターをつけるなど、別の視点を与えたり、アイデアの磨き上げで相談できる体制を整えているか。	12	3	12	9	6	3	0
ステップ③「共有」	5(1)、 6(2)	共創したアイデアを広く発信できる場を設けるとともに、講師等から意見をもらえる等、参加者の意欲が高まる工夫がなされているか。 また、次回に参加したくなるような活気ある発表の場が期待できるか。	8	2	8	6	4	2	0
情報発信			24						
活動状況の広報	6(3)	ステップ①～③の取組状況や会場の雰囲気について、写真や動画を用いるなど、臨場感のある発信が期待できるか。	8	2	8	6	4	2	0
情報発信力	6(3)	県民への環境問題に対する理解促進と意識醸成を図っていくことが期待できる情報発信力、ノウハウ等を有しており、手法等について具体的な提案がされているか。	8	2	8	6	4	2	0
アーカイブ	6(3)	プログラム終了後にも、参加者の成果を継続して周知できる素材・ツールが提案されているか。	8	2	8	6	4	2	0
実施体制・遂行能力			16						
実施体制	—	各業務の担当者名・役割・経験実績が明確に示され、本業務の目標達成に必要な知見やノウハウ、実績に基づく業務への適正が確認できるか。	12	3	12	9	6	3	0
スケジュール	—	業務スケジュールが具体的で、業務の遂行に必要な人員の確保、業務に精通した担当者等の配置、県と随時連絡が取れる体制が確保され、確実な遂行が可能と認められるか。	4	1	4	3	2	1	0
その他			16						
予算経費及び内訳	—	予算額及び経費の内訳は、業務の内容と照らし合わせて妥当であるか。	16	4	16	12	8	4	0
合 計			140		総合点：				

※評価は次の5段階で行い、評価点は項目ごとに設定した係数を掛けた点数を適用する。

評価A:特に優れている(4点) **評価B:**やや優れている(3点) **評価C:**普通(2点) **評価D:**やや劣っている(1点)
評価E:劣っている(0点)

※本評価基準における最低基準点は、84点(評価値の100分の60)とする。

※選定委員会における評価が次の条件に該当する場合は採択しない。

- ・委員による評価結果の合計が、最低基準点(84点×委員数)に満たないもの
- ・評価項目いずれかについて、評価E「劣っている」という評価を委員2名以上から受けたもの